



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 NEW ART

コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,225	3.8	1,270	△8.8	1,265	△8.0	1,003	△19.7
28年3月期第3四半期	9,852	71.9	1,393	—	1,376	—	1,248	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 999百万円 (△19.9%) 28年3月期第3四半期 1,248百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	3.02	—
28年3月期第3四半期	3.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,336	55.9	6,897	55.9	6,897	55.9
28年3月期	10,766	54.8	5,898	54.8	5,898	54.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,897百万円 28年3月期 5,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,272	4.1	1,226	△31.0	1,193	△32.2	938	△27.9	2.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料 P4.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	332,527,514 株	28年3月期	332,527,514 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	109,318 株	28年3月期	108,675 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	332,418,622 株	28年3月期3Q	332,420,048 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、[添付資料]P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、一部で弱さも見られたものの、企業収益や雇用の改善が進み、緩やかな回復基調が続きました。個人消費は、総じて底堅い動きで推移しました。

このような経済状況のもと、当第3四半期連結累計期間における、当社グループの業績は、引き続き主力のジュエリー事業およびエステ事業が好調に推移したことで、売上高は前年同期を上回ることができました。コスト面では、将来の事業展開を見据えた、積極的なマーケティングおよびブランドのイメージ強化を意図した広告宣伝活動等を実施したことで広告宣伝費が増加したため、販売費及び一般管理費が前年同期と比べ増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高102億25百万円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益は12億70百万円(前年同四半期比8.8%減)、経常利益は12億65百万円(前年同四半期比8.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3百万円(前年同四半期比19.7%減)となりました。

なお、平成29年春に、海外3拠点目となる台湾(台北市)および中国(上海市)にブライダルジュエリーショップ、エステティックサロン等の複合店舗の開設を予定しています。台湾においては、当社グループ初となる当社グループすべての業態およびブランドを併設した最大規模の複合店舗となる予定であり、今後さらなる売上拡大を目指します。

セグメントごとの状況は以下のとおりです。

①ジュエリー・アート事業

当第3四半期連結累計期間における、ジュエリー・アート事業の売上高は76億91百万円(前年同四半期比1.9%増)、セグメント利益は11億20百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

ジュエリー事業につきましては、テレビCMなどの集客強化により来店客数が増加し、平均単価が上昇していることに加え、クリスマス商戦も好調に推移しました。平成28年11月に、エクセルコ ダイヤモンド みなとみらい店を新たに開設しました。これにより銀座ダイヤモンドシライシおよびエクセルコダイヤモンドの店舗数はそれぞれ38店舗、19店舗(平成28年12月末時点)となりました。平成29年春には、中国・上海市の中心商業区「黄浦区」旧フランス租界エリアの復興中路沿いに、また台湾・台北市の「頂好」エリアの集客力が高い忠孝東路沿いに、ジュエリー事業において海外初となる店舗を開設予定です。

なお、アート事業につきましては、当第3四半期連結会計期間において大きな取引がなかったため、売上および利益が減少しています。

②エステ事業

当第3四半期連結累計期間における、エステ事業の売上高は25億34百万円(前年同四半期比10.0%増)、セグメント利益は1億84百万円(前年同四半期比23.0%減)となりました。

期首に行ったエステティシヤンの増員による施術数の増加および店舗商品の販売拡充により売上は好調に推移しました。一方、今後の集客拡大に向けたプロモーションを積極的に行ったことより広告宣伝費等は増加しました。平成29年春に、ラ・パルレ上海本店を銀座ダイヤモンドシライシの新規店舗に移設し、ジュエリーとエステの複合店舗として開設予定です。さらに、台湾初となる台北本店を、当社グループの他業態のブランドと併設した複合店舗として開設予定です。

当社グループのセグメント別売上は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第3四半期連結累計期間(千円) (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	前年同四半期比 (%)	構成比 (%)
ジュエリー・アート事業	ブライダル関連・美術品の販売・サービス	7,690,855	1.9	75.2
エステ事業	エステティックサロンの運営、化粧品等の販売	2,534,307	10.0	24.8
合計		10,225,163	3.8	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 「ジュエリー・アート事業」は、ブライダルジュエリー・ファッションジュエリー・アートジュエリー・美術品の販売およびウェディング送客サービス、ティアラレンタルサービスの売上となっております。
 4. 「エステ事業」は、連結子会社のエステ施術サービスおよび化粧品・栄養食品・美容機器販売の売上となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億65百万円増加(前連結会計年度末比16.2%増)し、83億40百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金が13億91百万円減少したものの、主にアート事業の在庫増加に伴い、商品及び製品が24億4百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億4百万円増加(同11.3%増)し39億96百万円となりました。主な要因としては、関係会社の出資強化による関係会社長期貸付金の増加3億4百万円等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ15億69百万円増加(同14.6%増)し、123億36百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加(前連結会計年度末比11.8%増)し、47億81百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加6億67百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加68百万円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加(同10.8%増)し、6億56百万円となりました。主な要因としては、長期借入金の増加59百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度に比べ5億70百万円増加(同11.7%増)し、54億38百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億99百万円増加(前連結会計年度末比17.0%増)し、68億97百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加10億3百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は55.9%(前連結会計年度末は54.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第3四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、特に利益においては通期連結業績予想数値を上回っておりますが、平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日公表の業績予想から変更はありません。今後、業績予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,535,917	1,144,348
受取手形及び売掛金	1,823,217	1,816,779
商品及び製品	2,445,625	4,849,653
原材料及び貯蔵品	82,002	100,800
前払費用	122,878	130,017
短期貸付金	3,100	3,000
繰延税金資産	128,278	117,525
その他	37,021	196,826
貸倒引当金	△3,022	△18,897
流動資産合計	7,175,019	8,340,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	692,448	710,893
車両運搬具（純額）	0	339
工具、器具及び備品（純額）	883,798	941,067
建設仮勘定	14,582	432
有形固定資産合計	1,590,829	1,652,731
無形固定資産		
ソフトウェア	17,126	12,542
電話加入権	4,932	4,932
のれん	387,185	371,345
その他	100	100
無形固定資産合計	409,344	388,921
投資その他の資産		
投資有価証券	66,930	116,930
長期前払費用	15,580	10,505
関係会社長期貸付金	213,300	518,110
敷金及び保証金	1,030,027	1,046,647
繰延税金資産	11,885	6,947
その他	266,792	268,813
貸倒引当金	△13,521	△13,521
投資その他の資産合計	1,590,996	1,954,434
固定資産合計	3,591,169	3,996,087
資産合計	10,766,189	12,336,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	154,516	166,431
短期借入金	1,800,000	2,467,000
1年内返済予定の長期借入金	99,140	167,800
未払金及び未払費用	536,317	659,311
未払法人税等	351,031	82,750
前受金	1,107,236	1,152,065
その他	227,166	86,378
流動負債合計	4,275,408	4,781,737
固定負債		
長期借入金	400,860	460,020
退職給付に係る負債	188,755	194,743
長期未払金	2,538	1,212
その他	500	500
固定負債合計	592,653	656,476
負債合計	4,868,062	5,438,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,152	2,376,152
利益剰余金	909,143	1,912,230
自己株式	△2,040	△2,062
株主資本合計	5,900,507	6,903,572
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,380	△5,644
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△5,644
純資産合計	5,898,127	6,897,927
負債純資産合計	10,766,189	12,336,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,852,503	10,225,163
売上原価	4,272,588	4,153,977
売上総利益	5,579,914	6,071,185
販売費及び一般管理費	4,186,473	4,800,847
営業利益	1,393,441	1,270,337
営業外収益		
受取利息	431	5,256
為替差益	—	7,334
その他	1,546	902
営業外収益合計	1,978	13,493
営業外費用		
支払利息	14,007	17,718
社債利息	353	—
為替差損	4,632	—
その他	50	154
営業外費用合計	19,042	17,873
経常利益	1,376,376	1,265,957
特別損失		
固定資産除却損	914	8,887
減損損失	4,145	9,685
特別損失合計	5,060	18,573
税金等調整前四半期純利益	1,371,315	1,247,384
法人税、住民税及び事業税	271,788	228,607
法人税等調整額	△149,160	15,690
法人税等合計	122,628	244,298
四半期純利益	1,248,687	1,003,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,248,687	1,003,086

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,248,687	1,003,086
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	146	△3,264
その他の包括利益合計	146	△3,264
四半期包括利益	1,248,833	999,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248,833	999,822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,548,969	2,303,534	9,852,503	—	9,852,503
セグメント間の内部売 上高又は振替高	74	—	74	△74	—
計	7,549,043	2,303,534	9,852,577	△74	9,852,503
セグメント利益	1,177,716	240,266	1,417,983	△24,542	1,393,441

(注) 1. セグメント利益の調整額24,542千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー・アート事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、4,145千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ジュエリー・ アート事業	エステ事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,690,855	2,534,307	10,225,163	—	10,225,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	358	31	390	△390	—
計	7,691,214	2,534,339	10,225,553	△390	10,225,163
セグメント利益	1,120,734	184,960	1,305,695	△35,357	1,270,337

(注) 1. セグメント利益の調整額35,357千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。